

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

(別紙2-4)

法人名	株式会社シンエー	代表者	佐伯真介
事業所名	ふれあい館むくのき式番館	管理者	益田礼子

法人・事業所の特徴	法人として深谷市内2か所目の小規模多機能施設です。「自宅での生活を支え、安心できる関係を築き、笑顔と活気に満ちた家庭的な環境を提供します。」という理念のもと、私たち自身が安心して利用したいと思うサービスの提供に努め、在宅生活のための支援を提供いたします。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	2人	1人	人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所に頻繁に関わっているわけではないので評価するのは難しく分らないことが多い。 スタッフ間のミーティングや確実な情報共有には一日を通して勤務に入れるスタッフを増やすのが良いと思う。	時間の使い方を工夫し、短時間でもミーティングを行う。 より良い支援提供のため、情報共有や統一した対応、働きやすい職場環境づくりを意識していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			防災(災害)を考えると施錠は適切ではないが、防犯上必要と考えると、玄関施錠の判断は難しい。	日中の玄関施錠に関しては防犯上必要と判断したときのみの対応とする。 働きやすい職場環境作り、施設内外の環境美化に努める。
C. 事業所と地域のかかわり			特に意見なし	地域のイベント、行事の情報を集め、できる限り参加をしていく。 散歩時のごみ拾いを継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			特に意見なし	地域資源を知り活用に繋げていく。 事業所だけではなく、必要に応じて関係各所と連携を図り対応していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			特に意見なし	今後も運営推進会議の中で事業所の取組みを報告するほか、地域と協働した取組みに向けて意見をいただき活動に繋げていく。
F. 事業所の防災・災害対策			施設で実施した自主訓練(夜間想定)について、反省点ばかりの訓練であったことに対してアドバイスをいただく。 今年度(2/22)実施予定の自治会自主防災訓練について確認。 市との災害協定は結んでいるか?	消防立ち合いの消防訓練の実施を行う。 災害用備品や物資の補充・整備を進める。 自治会でいう自主防災訓練に参加する。